

だい ぶ かだい  
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

だい かい  
第16回

まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクール

がつたいかい  
6月大会

か だい  
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん  
第5部 和文A 小学生低・中学年

かんようく  
ことわざ・慣用句①

せいげんじかん ぶん  
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど  
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,410字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ  
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい  
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど  
おりに入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい  
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援


そうむしょう  
総務省


もんぶかがくしょう  
文部科学省


こうせいろうどうしょう  
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか


ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく  
1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


た とり  
立つ鳥あとをにごさず 


てんさいはわすれたころにやってくる 


そなえあればうれいなし 


やまい き  
病は気から 


るいはとも  
友をよぶ 


かえるの子はかえる 


まな いた  
板のこい 


えびでたいをつる 


のこりものには ふく福がある 


はな  
花よりだんご 


うま みみ  
馬の耳にねんぶつ 


おににかなぼう 


きつねとたぬき 

さるも き木からおちる 


め くち  
目は口ほどにものを い言う 


ねこに こ小ばん 


ゆだんたいてき 


あたま  
頭かくしてしりかくさず 

こいのたきのぼり 


ぬかにくぎ 


れきしは かえくり返す 


した  
親しきなかに もれいぎあり 


にがした さかな おお魚は大きい 

ふくろの ねずみ 


わらう かど門には ふく き福来たる 


ちりもつ やまもれば山となる 


へそで ちゃ茶をわかす 

つるの ひとこえ一声 

せいては ことをしそんじる 

すずめの なみだ 

いし うえ石の上にも さんねん三年 

むかし  
昔とった きねづか 

くさいものにふたをする

人のふり見てわがふり直せ

ほねおりぞんのくたびれもうけ

けんえんのなか

とんびにあぶらあげをさらわれる

六十の手習い

来年のことを言えばおにがわらう

ももくり三年かき八年

身から出たさび

りょうやくは口にながし

よいっばりの朝ねぼう

なきつつらにはち

はなが高い

とくいになっているようです。

妹は先生に作文をほめられてはなが高いらしい。

あせ水たらず

ろくをいとわず、一生けんめいはたらく。

わたしの家は父母がわかいじだいから、あせ水たらしてともばたらきし、たてたものだ。

くびをつっこお

ある物事にきょうみやかんしんを強く持ってかんけいする。

いろいろなおけいこにくびをつっこんでいるのでいそがしい。

朝めし前

きわめてたやすいこと。

これくらいのことは、朝めし前だよ。

あいづちをうつ

あいての話にちょうしをあわせる。

あいつちをうちながら、話を聞く。↵

↵

ばつがわるい↵

その場のちょうしがわるい。きまりがわるい。↵

父にしかられているところをともだちに見られ、ばつがわるかった。↵

↵

ひとたまりもない↵

かんたんに打ちくずされる。ちょっとの時間も持ちこたえられない。↵

どんなに丈夫な家でも、今度の大きな台風には、ひとたまりもないだろう。↵

↵

ちえをしぼる↵

ありったけのちえで一生けんめい考えて、よいいけんをだそうとする。↵

がっきゅうのみんなでちえをしぼって作り上げたげきなので、多くの人に見せたい。↵

↵

けたが違う↵

大きな差があって、くらべものにならないこと。↵

ナイアガラの滝は、日本の滝とはけたが違う。↵

↵

目をこらす↵

よくちゅういして、じっと見つめる。↵

遠くからくる人が、だれかとたしかめるため、じっと目をこらした。↵

↵

首をかしげる↵



不思議に思ったり、どうかしらと考えたりすること。↵





おかしいことがあるものだと首をかしげた。↵





↵





手をつくす↵





あらゆるしゅだん、ほうほうをこころみて、どりよくをする





。   
 びょうき 病気のちりょうに て 手をつくす。 




  
 うし 牛の あゆ 歩み   
 うし 牛が ある 歩くように、ものごとの すす 進みがおそいこと の たとえ。   
 はは 母は かいがいりょこう 海外旅行の たいけん 体験 いらい 以来、 うし 牛の あゆ 歩みながら えいご 英語の べんきょう 勉強をつづ  
 けている。 

  
 くちびるをかむ   
 くやしきや、いきどおりをじっとがまんする。   
 あに 兄は しけん 試験に しっぱい 失敗し、 おち くちびるをかむ おも 思いで、 いちねんべんきょう この一年勉強に  
 とりくんだ。 

  
 いきをぬく   
 きぶん 気分をかえたり、 やす やわらげたりするため やす 休みをとる。   
 いきをぬくひまもなく、 しごと しごとをする。 

  
 いち 一から じゅう 十まで   
 なに 何から なに 何まで すべて すべて。   
 かれは いち 一から じゅう 十まで せわ せわを して してもらっている。 

  
 うでが あ 上がる   
 まえ 前より じょうず 上手になる。   
 ひさしぶりに ちち 父と あ サッカーをしたら、 あ うでが あ 上がったな、と  
 ほめられた。 

  
 はめをはずす   
 つい おも もしろくて ちようし ちょうしにのり、 ていど ていどを こ こして しま しまう。   
 そつぎ しき しょうじきの ひ 日、 ともだち ともだちと うた 歌ったり さわい さわいだりして、  
 はめをはずして いたら いたら、 はは 母に しか さられた。